

平成26年度 第2回みんなで支える森林づくり上小地域会議

(議事録)

開催日時：平成27年3月4日(水) 13:30～16:15

開催場所：上小森林センター他

出席委員：上原栄子委員、菅沼久美子委員、田中雄介委員、矢ヶ崎雅哉委員、金山睦夫委員、石井公彦委員

事務局：長野県上小地方事務所林務課

1 現地調査 13:30～14:30

(1) 松くい虫被害材チップ化機械実演(上田市有林：上田市富士山)



(2) 第67回全国植樹祭植樹会場視察(上田市自然運動公園)



2 会 議 14:45~16:15

(1) 開会

<事務局>

ただいまから、平成26年度 第2回みんなで支える森林づくり上小地域会議を開催します。先ほど見ていただいた現地視察につきましても、後程意見をお願いしたいと思います。それでは、会議事項に先立ちまして、林務課長からあいさつを申し上げます。

(2) あいさつ

<高橋林務課長>

本日は、本年度第2回の「みんなで支える森林づくり上小地域会議」の開催にあたり、公私ともご多忙のところ出席頂きまして、誠にありがとうございます。

また、日頃、長野県の森林・林業施策の推進にあたりまして、委員の皆様にはたいへん御理解と御協力、御支援をいただきましておりますことを、この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

開会に当たりまして、この度の大北森林組合の補助金の不正受給および県の不適切な事務処理に関しまして、組合による不正受給を大変遺憾に思うとともに、県の不適切な処理対応についても、皆様の信用を大きく失墜させた責任を深く痛感し、お詫び申し上げます。ここで、この事案のこれまでの経過と今後の対応等につきまして、ご説明させていただきます。

「別添の資料」にて説明

いずれにしましても、全容解明の結果および再発防止策等の今後の対応につきましては、改めて県民の皆様へ報告させていただきます。大北森林組合の補助金の不正受給および県の不適切な事務処理に関しましての説明は以上でございます。

本日の会議は、本年度の森林税の取組成果の報告、平成27年度の事業案等をご協議いただきたいと思います。また、全般的に森林税の今後の活用方法やあり方などにつきましてもご意見、ご提案をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

<事務局>

本日、都合により加々美委員、別府委員が欠席でございます。事務局、各委員様の自己紹介をお願いします。

・・・事務局、各委員自己紹介・・・

＜事務局＞

それでは、会議事項に入りたいと思います。地域会議設置要領第4の2に基づきまして、議事進行を座長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

（3）会議事項

＜金山座長＞

これから議事を進行させていただきます。

はじめに、会議次第の会議事項（1）平成26年度森林税活用事業実績について、事務局から説明を頂き、その後に皆様から意見を頂きたいと思います。それでは事務局から説明をお願いします。

＜事務局説明＞

○平成26年度「長野県森林づくり県民税」活用事業実績について

- ・平成26年度実績・・・・・・・・・・資料1-1
- ・森林づくり推進支援金・・・・・・・・・・資料1-2
- ・信州の木活用モデル地域支援事業・・・資料1-3
- ・木育推進事業・・・・・・・・・・資料1-4
- ・里山利用総合支援事業・・・・・・・・・・資料1-5

＜金山座長＞

それでは、先ほどの説明に対しまして、御意見をお聞きしたいと思います。質問や内容確認、事業実施の感想などでも結構です。よろしくお願いします。

＜金山座長＞

先ほど、説明のあった「信州の木活用モデル地域支援事業」での長和町商工会の取組ですが、本日持ってきた「木製灯籠」や「森の暮らし夢工房」（東屋）など、中山道「和田宿」の街道沿いに設置してありますので、一度ご覧いただければと思います。

＜菅沼委員＞

木育推進事業ですが、事業主体が固定化している傾向があります。もう少し、広く周知していただき、上小地域内で学校、公民館活動など幅広く活用していただくようお願いしたいと思います。

＜事務局＞

ご指摘のとおり、木育推進事業は継続事業が多い傾向にあります。事業周知や要望調査は、各市町村を通じ行っているが、結果的に継続事業が多くなっている状況です。今後、なるべく多くの関係者に周知していきたいと思います。

＜田中委員＞

上小木材青壮年団体連合会として10年ほど前から上小地域の小学校で木育の活動してきましたが、小学校からの依頼が年々少なくなってきました。長野県は森林県林業県なのでもっと子供たちが木に触れ合う機会を増やしてほしいと思います。

＜事務局＞

学校関係者と接触する機会は少ないですが、緑の少年団活動の中で周知・PRしていきたいと思います。また全国植樹祭での取り組みとして苗木のスクールステイ活動の中でプランターづくりなど、色々な方法で木育を広めていきたいと思います。

＜石井委員＞

里山整備で竹の駆除が課題であると思っています。森林税事業では、付帯事業でできるが、かなり広範囲に広がっているので、竹林整備が単独でできる事業があれば、里山整備が住民に税事業を実感してもらうことができるのではないかと思います。

＜事務局＞

青木村では、2ha程度付帯事業としてやっています。ただ、付帯事業なので森林整備と一体となった竹林の整備となります。

＜金山座長＞

切った竹を利用することを考えれば、木育を絡めて森林税の活用につながっていくのではないかと思います。

＜事務局＞

竹林整備は、森林税活用事業だけでなく、「地域発元気づくり支援金」などを活用している地域もあります。地域の実情に応じて支援・対応していくので、また相談してほしいと思います。

＜上原委員＞

「地域発元気づくり支援金」を利用したことがあるが、採択要件が厳しく、簡単には利用できない印象を受けました。

＜田中委員＞

信州の木活用モデル事業を使って製作された長和町の東屋の事業費はどれくらいでしょうか。

＜事務局＞

200万ぐらいで、材料を木材業者から直接仕入れたりして、かなりコストを抑えて

作製されたと聞いています。東屋本体が4分割になって、イベントなど活用できるようになっています。

＜田中委員＞

昨年、大河ドラマが決まり私の住んでいる上田市真田町もそれに向けて観光など整備・PRをしなくてはいけないが、木をつかったこのような施設製作などの取り組みが必要と思参考までにお伺いしました。

＜金山座長＞

意見がないようでしたら、次に（2）平成27年度「長野県森林づくり県民税」活用事業の計画についてを事務局から説明願います。

＜事務局説明＞

○平成27年度「長野県森林づくり県民税」活用事業の計画について

- ・平成27年度計画の概要・・・・・・・・・・資料2-1
- ・森林づくり推進支援金・・・・・・・・・・資料2-2
- ・木育推進事業・・・・・・・・・・資料2-3
- ・里山活用推進リーダー育成事業・・・・・・・・資料2-4

＜金山座長＞

それでは、先ほどの説明に対しまして、御意見をお聞きしたいと思います。

＜矢ヶ崎委員＞

松くい虫被害対策事業について、上田市、東御市では森林づくり推進支援金で行っていると説明を受けましたが、このほかに国の事業などもあると聞いていますがどれくらいの規模で行っているのかを伺いたしたいと思います。

＜事務局＞

森林づくり推進支援金においての松くい虫被害対策は、国庫等の補助対象にならない区域の松くい虫被害林について、地元の要望により市等が処理する事業です。そのほかに、国庫等補助事業による対策事業、上田市単独事業など様々な事業をやっています。

この地域は、松くい虫で大変苦勞されているところで、上田市も膨大な資金を投入して対策を行っていますが、被害を無くすことは難しい状況です。最近、松も大きくなり、被害木をただ伐って薬剤処理する防除から、被害材を利用する取り組みが始まってきました。本日、現地調査で見ていただいたように松くい虫被害材は、丸太材での使用はできないので大型チップ加工機械を使ってチップ化による被害材利用について研究を行っています。平成28年に塩尻市で完成する発電施設に持っていきたいが、コストや工程をさらに調査・研究していく必要があると認識しています。

今後も守るべき松林はしっかり防除対策を行い、その他の松林は被害材利用を中心に対策を行い着実な松くい虫被害対策を実施していきたいと考えています。

<上原委員>

木育ですが、もっと身じかな公民館など地区単位でできればいいと感じました。地域や役場などに働きかけていきたい。

<事務局>

木育について、ぜひ、地域での周知、働きかけをお願いしたいと思います。

<石井委員>

信州の木活用モデル地域支援事業は、大変いい事業と思います。上田市は、大河ドラマをはじめてとする観光に力をいれているので、この事業を取り入れて観光で訪れた方に木材をPRできるようにしていただければと思います。

<事務局説明>

- ・全国植樹祭、苗木ホームステイについて・・・別紙チラシ

<金山座長>

それでは、すべての議事を終了します。ありがとうございました。

